

仕 様 書

業務名称：自家用電気工作物保安管理業務

履行場所：羽曳野市尺度442 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

履行内容：別紙点検基準、設備機器一覧のとおり

履行期間：令和6年2月1日から令和9年1月31日まで

ただし本業務の履行にあたり発注者又は受注者が業務引継ぎの必要があると判断した場合には、新旧受注者の責において業務の引継ぎを実施する。なお、業務引継ぎにおける経費は受注者負担とする。

新受注者の業務引継期間：契約日の翌日から令和6年1月31日まで

連絡責任者等：

- (1) 発注者は、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安のための巡視を行う者及びこの契約の履行に関して受注者と連絡をとる連絡責任者を定め、その氏名、連絡方法等を受注者に通知するものとする。
- (2) 発注者は、連絡責任者に事故がある場合は、その業務を代行させるための代務者を定め、直ちにその氏名、連絡方法等を受注者に通知するものとする。
- (3) 発注者は、連絡責任者又はその代務者に変更が生じた場合は、直ちに受注者に通知するものとする。
- (4) 発注者は、連絡責任者又はその代務者を、受注者の行う保安管理業務に立ち会わせるものとする。

委 託 概 要： 履行場所に設置されている自家用電気工作物について、電気事業法第43条の規定により、事業用電気工作物の維持、運用及び工事に関する保安を確保するために必要な保安管理業務を行うものとする。なお、この仕様書は委託の大綱を示すものであり、保安管理業務を実施する上で付帯的に実施しなければならないものについては、この仕様書に記載がないものでも、発注者の指示に従い、契約金額の範囲内で実施するものとする。

- (1) 電気事故その他の電気工作物に異常が発生し又は発生するおそれがある場合において、発注者もしくは電力会社等より通知を受けたときは、事故原因を探し応急措置を助言し、再発防止につき、とるべき措置を報告するとともに、必要に応じて電気事業法第106条の規定に基づく電気関係報告規則に定める電気事故報告の作成及び手続きの助言を行うこと。
- (2) 電気事業法第107条に規定する立入検査の立会いを行うこと。
- (3) 電気工作物の工事、維持及び運用に関する中部近畿産業保安監督部長への提出書類及び図面について、その作成及び手続きの助言を行うこと。
- (4) 電気工作物の設置又は変更の工事について設計の審査を行い、必要に応じとるべき措置について発注者に報告すること。
- (5) 電気工作物の設置又は変更の工事について、発注者の通知を受けて別紙点検基準により、工事中の点検を行い、必要に応じとるべき措置について発注者に報告すること。
- (6) 電気工作物の維持及び運用が適正に行なわれるよう、当該電気工作物の点検、測定、及び試験を定期的に行い電気設備に関する技術基準を定める省令（平成9年通商産業省令第52号）に規定する技術基準の規定に適合しない事項があるときは、必要な指導又は助言を行なうこと。
- (7) 本点検における電気管理技術者又は保安業務担当者（業務を総合的に把握し、業務を円滑に実施するために連絡責任者との調整を行う者で、受注者側の責任者）の資格としては電気主任技術者の資格を有するものとする。
- (8) 災害・緊急時の対応として不意の故障や事故に備え、専門技術者による24時間出動体制を組み、連絡があればただちに出勤・対処し必要に応じ臨時点検を行う。処置の結果は「作業報告書」又は「故障修理報告書」を提出すること。
 - (ア) 個人等にあつては、発注者と常時連絡がとれる体制を確保すること。
 - (イ) 法人にあつては、法人の事務所及び保安業務担当者と常時連絡がとれる体制を確保すること。
 - (ウ) 連絡を受けてから2時間以内で当該施設へ到着できる体制を確保すること。
 - (エ) 風水害の被害が予想される場合には、迅速な対応ができる体制を確保すること。

協力及び義務： 発注者は、受注者が保安管理業務の実施にあたり、受注者が報告、助言した事項又は協議決定した事項については、速やかに必要な措置をとるものとする。

業務の代行及び応援等：

- (1) 受注者の病気又は発注者の承認した事由により、この業務を行い難いときは、あらかじめ発注者に書面による承認を受けた場合は、本委託業務の代行者を定めることができるものとする。
- (2) 受注者又は発注者に承認を受けた代行者は、保安管理業務に従事する証を常に携帯し、発注者の求めに応じ提示すること。
- (3) 受注者は、代行者の事業所への連絡方法を書面をもって発注者に通知するものとし、発注者は面接等により本人の確認を行うものとする。

記録の保存： 受注者が実施し報告した保安管理業務の結果の記録等は、発注者、受注者双方において3年間保存すること。

一般事項：

- (1) 感電受傷事故等の防止には万全を期すること。また電気設備の定期点検等は、原則として目視点検として安全な状態で作業を行うものとし、やむを得ず活線状態で作業するときは、絶縁用防具、保護具等を用いて行うものとする。
- (2) 精密点検において、通信設備等業務上停電できない設備については、非常用発電機等を運転し電力を供給して行うこと。その際の点検範囲は停電部分とし、非常用発電機等を運転している際に点検できない部分は、復電し非常用発電機停止後、安全な状態になったことを確認して行うこと。
- (3) 停電予告等の各方面への連絡は、十分余裕をもって行い、復旧は完全に元の状態になっていることを確認する。
- (4) 精密点検等を実施する上で必要な、機器等の清掃及び後片づけに伴う機器周辺等の清掃を行うものとする。
- (5) 消耗品、付属品等
点検に用いる消耗品、付属品等は、受注者の負担とする。
(ア)点検・品質管理・故障の処置に必要な部品のうち、消耗部品（通常の使用による磨耗・劣化により補完・交換を行う小部品・油脂類等）を供給すること。
(イ)点検時の部品取替えの範囲は連絡責任者の判断により行うものとする。
- (6) 精密点検の点検日時等
受注者は連絡責任者と協議し、承諾を得てから決定すること。
また、点検等に伴う関西電力の作業費用については、手続きも含め受注者の負担で行うものとする。
- (7) 無償提供物件
本委託による電気工作物における点検に必要な、当該施設における電力、非常用発電機燃料、ガス、水道等は無償で利用できる。
- (8) 報告書等の提出
電気工作物の点検・測定毎に点検結果を記入し各1部を発注者及び連絡責任者に速やかに提出すること。
(ア)電気設備点検記録 支払請求時に提出。ただし点検において異常が発見された施設のうち、緊急を要する事項については、速やかに報告すること。
(イ)設備の不良箇所一覧表 支払請求時に提出。異常のあった事業所名、不良機器場所、不良機器名称、不良内容の項目。なお、不良内容については、電気設備技術基準に適合しない事項とその他の不良事項に整理すること。
(ロ)業務計画書 点検日時、電気管理技術者又は保安業務担当者名及び連絡先、安全管理等を具体的にまとめた計画書及び電気管理技術者又は保安業務担当者の保安管理業務に従事する資格を有する証の写しを連絡責任者と協議の上、作成し点検開始前に発注者の承諾を受ける。
(ハ)事故・災害時の臨時点検の出動実績 1部 翌月15日（3月分については3月末）までに提出
(ニ)保守機器データ報告書 点検の結果、設備機器データ（仕様や数量等）が発注仕様書と異なる場合は報告書を提出する。
(ヒ)修繕・改造記録 電気設備の修繕、改造を行った場合の記録を提出する。
- (9) 業務内容の引継義務
本委託内容を引継ぐことに至った場合は発注者の指示により、無償にて継承先の受注者に対し、保安管理状況等の説明を行うこと。また、継承を受ける場合は、発注者に申し出て保安管理業務実施前に保安状況の引継ぎをうけること。

点 検 回 数 等 :

定 例 業 務	業 務 の 内 容		別紙点検基準のとおり、定期点検、精密点検のほか、保安に関する教育について助言すること。
	回 数	定期点検	月 1 回以上、施設の点検を実施すること。
		精密点検	年 1 回とする。時期は、連絡責任者と協議して決める。
定例外業務	業 務 の 内 容		工事監督等定例業務以外の保安全管理業務を行うこと。
	回 数		主要工事中は、週 1 回以上とする。

届 出 等 : 受注者は、契約の履行に当たって暴力団員等から妨害又は不当な要求を受けた場合は、警察署への届出及び発注者への報告をしなければならない。また、受注者の下請業者が暴力団員等から不当な要求を受けた場合は、届出等を当該下請業者に指導しなければならない。届出等がない場合は指名停止をすることがある。

災 害 防 止 : 災害防止には十分に注意し、連絡責任者が必要と認め指示した場合には、隣接建物、道路その他に対し養生管理を行うとともに、万一人畜、器物などに被害損傷を与えた場合は連絡責任者に報告の上すみやかに処理し、その責任は全て受注者が負担する。

疑 義 : 点検基準と委託内容などに相違ある場合、又は疑いを生じた場合には総て連絡責任者と協議し、軽微なものについては連絡責任者の指示に従い施行する。

官 公 署 : 委託の施行に必要な官公署その他の手続きは、遅滞なく行う。諸手続に要する費用
その他の手続き は一切受注者の負担とする。

守 秘 義 務 : 受注者は、業務上知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

完了検査と : 本業務完了後は、検査員立ち会いによる所定の検査に合格の後引き渡しを行うもの
引 渡 し とする。

以 上